

# ふるさと奥尻通信

平成27年11月30日  
奥尻町教育委員会発行  
事務局：01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

## 巻頭言

1月タラ、2月ゴッコ、3月サクラマス、4月ホッケ、5月アブラコ、6月ソイ、7月ハチガラ、8月ちよつと一休み、9月アジ、10月サケ、11月カジカ、12月カレイ。奥尻島魚暦。あくまでも目安です。

## 特集 奥尻の釣り 一磯釣り上級編一

冬の釣りシーズンです。今号ではやや上級者向けの釣リスポットを紹介し、その醍醐味と危険性をお伝えします。

先に岩場の注意点として、足下が悪く、転倒による手足の骨折やねんざによる行動不能状態に備え、複数で行動すること。夜間は予備のヘッドライトを携帯すること。冬期間は海藻で岩が滑るので、スパイク靴を履くこと。ライフジャケットを着用すること。潮の満ち引きを把握すること。

次に防波堤の注意点として、テトラポット上は特に危険なので、乗らないこと。大型のテトラ内に落下した場合は自力では助からないと思うこと。冬期間は防波堤上が凍結しているの、強風で滑り落ちる可能性があること。岸壁から車の転落に留意すること。それではポイント紹介です。

・穴潤岬 西海岸、屏風立岩手前の岩場です。岬の先端付近から向かいの岩の間に投げ込みます。深さはそれほどありませんが、ソイ、ハチガラ、ガヤなどの根魚がたくさんいます。陸地に近いために型は小さめです。撒き餌をして魚を誘えば、数多く釣れるでしょう。



危険な例 奥尻港外防波堤



にぎわう岩場 崖の岬(ガンケ)

・北国岬 春のカレイやホッケをねらうならば、西海岸の北国岬がオススメです。幌内トンネルの脇から岬に進出できるので、幌内湾の入り口や中央部に遠投することができます。塩イソメで遠投すればクロガシラカレイやマガレイ、撒き餌をつけて投げればホッケが数多く掛かります。また岬から沖に向けて投げれば、大型のクロゾイやアブラコが期待できます。

・ガンケ いろんな種類の魚を釣りたいと思うなら、東海岸の崖の岬(通称ガンケ)がオススメです。ここは浅瀬ですが、深みが何本も入っていて大型のソイやハチガラ、カジカなどがねらえます。時季にはホッケやアブラコも回遊してくるので、五目釣りが楽しめます。根掛かりしやすいので、テクニックが必要です。

・弁天岬 ガンケの近く、宮津地区の氏神様が祀られている宮津弁天宮が建つ独立丘の麓です。先に参拝すると釣果が違います。たぶん。宮津港に隣接しているので、入りやすい岩場です。手前に投げてソイ、ハチガラ、中間でホッケ、アブラコ、遠投でカレイがねらえます。港内では大型のカジカやアブラコが期待できます。冬場はヤリイカなども。

・屏風立岩 西海岸、神威脇漁港に近くにある屏風を広げたような勇壮な奇岩です。ここは胴付きを履いて浅瀬を渡る必要があり、さらに険しい岩場を先端まで歩いて行かねばなりません。人が入っていないのと、深場まで到達できることから、60cmを超えるソイが釣れるという穴場です。場所が広いので、やや内側ではカジカやアブラコ、まれにカレイやホッケも見られます。

・ワンポイント エサと仕掛けは多めに。サンマは食用をおろすべし。イカゴロは万能エサ。オモリは外れやすくすべし。タモ持参が確実。潮見表を読むべし。あとは体力と財力。神頼み。



釣り人の聖地、屏風立岩 ※足場注意



奥尻の岩場は簡単に大物が釣れます 北国岬



岩場は大漁が期待できます 春の北国岬



ライフジャケット着用が基本です 平島(舟渡し)



島の北端稲穂岬を回って西海岸を進むと野名前の集落があります。現在ではここが最終人家となっていますが、かつてはその奥の滝ノ澗にも数軒の人家があり、海岸からやや内陸部では畑作や稲作も行われていたといえます。写真は昭和40年代の滝ノ間岬を写したもので、地元の若者が磯舟で離れ岩に渡った時のものでしょう。人の背後に岬の山塊が見えますが、ちょうど童話の巨人ガリバーが横たわっているように見えることから、「ガリバー岩」と呼ばれています。手前の男性の頭の右手が鼻で、左手が口に見えますね。現在では巨人の頭部分が崩落しています。



学芸員オススメの一冊をご紹介します。本は海洋研修センター図書室で借りられます。

さっぽろ酒場グラフィティ  
和田由美 亜璃西社

5時の鐘が鳴る。喉はさつきから渴いている。時計に目をやる。向かいのあいつも同じ動作。これは同じ事を考えているな。するとフツと目が合う。行くか？と目が語っている。うん、と目配せする。ニヤリと笑うあいつ。終業の鐘が鳴る。ボタンと綴りを閉め、やおら立ち上がる。お先に失礼します！元氣な声を出して事務所を出る。足取り軽く街へ向かう。背中には羽が。

月刊 奥尻のつり 11月号

秋・冬の釣りシーズン真っ盛りです。今年はカジカやカレイは昨年よりも数が出ない傾向にあり、大物も少ないようです。一方、ソイ類は好調で、特にクロソイは大型傾向です。11月13日にはホヤ石付近で61.3cmが上がり、続く20日には屏風立岩で60.5cmが上がるなど超大物が釣れていました。地元釣りクラブの資料に照会すると、磯釣りでも最近ではあまり出ていなかったようです。ホッケについては、今年も不漁で、漁師の網に少々かかる程度。釣り人の竿にかかるのはごく稀となっています。奥尻の水産加工品は原材料品薄のため、販売価格は若干の高騰傾向にあります。ヤリイカの声がそろそろ聞こえてくる頃です。島のアングラータちがソワソワしております。

昭和奥尻生活詩 新谷清二の鳥賊つけ1ヶ月 第3回

釣石尋常小学校高等科二年生 文集「島の子」第八号より  
入かえい右一ろ測なれんか様て辺知たを船を位ださ  
っなな。に尾しるらはな、に鳥りっ。下は出持。をす  
ていか島一もてとな困やっな賊はたころ茶発っ深調ぐ  
しのっは艘釣、思いっったが見。れし津したさべ鳥  
までた霧、かして。たて。て来え空もた。た。をる賊  
った。が左なやて朝とも錨いてなは皆。東。五調物つ  
たン 深にいくや錨思底のるもい曇大潮風風時べをけ  
。ポ俺いニ。つめをっに付。す針っ人は泊は十る持の  
次をはた艘辺たて引た届い深ぐのてか上のク五物っ  
回上あめより。トっがかてさ釣支霧らげ間ダ分はてン  
にげん少りを十ンばどないをけ度は聞潮のりに約船ボ  
つてまし見見時ボるういる調らも一だ沖だ舟六と  
づ寝りもえた頃を時に。繩べれ出面てに。入十積、  
く 釣見なら迄下にもこみにる来で 錨俺澗尋ん深

初ンた名者もらてたれ程町  
出ジ。程がのも作はで総十  
品、今多あで金ら品、初合一  
で年いりす土いを時開文月  
しコは結、。日た多間催化六  
た。パ、果昨四のいくをさ祭日  
。一フと年八開とのかれが、  
ジラなよ一催い人けま三ハ  
ユワリり名とうたてし日日  
な一まものなこち作た間ま  
どアし八観つとにら。ので  
がレ。〇覧たか見れこ日、



雨の中の作業お疲れさまでした

ことみうず霧多て藤根り花夫と  
と、でな。困く、さをツ壇妻稲富  
がおす開こ気出文ん植ブにが穂里  
で客。花れに品化はえ、ス海在在  
きさ入がで彩し祭自てムイ洋住住  
るんり見来つてに宅くスセ研のの  
のも口ら年て会もでれカン修高工  
で気がれ以く場植草まり、セ橋藤  
は軽綺る降れを木花しなチン誠律  
？に麗かどて明鉢をたどユタ二子  
入で楽のいるを育。の一。ささ  
るすしよまい数 工球 のんん

花の球根を植え付け

又巻インて足ロ。師オが。た。と。来  
ツいとつ、下。さモら。う。超島  
とて潜としにホンチ。六。大五年  
姿いり重やポヤかヤ。で。一。物  
をくまみくチ石ら、す。cmの目  
を現とすがつヤ手もエ！の釣し  
しま巨ジていとん前らサ竿クに  
し大ワ、たた岩た地はロ上、  
た。魚ジグらら場イ元供イげ  
がワイ、しかカの用へま  
とグズ。らゴ漁のなしう

まご回し素書一と掲二受朝し  
しめ顧ま人こ最な載年け刊て稲  
たんでいなう初つ分の持コい垣  
な終、もととはを任ちラム学芸員  
さわ最ん思奥よ脱期がムした、が  
いつ後でつ尻う稿で終一、た、  
てはネてのでし了朝。北交  
とし自タい話すてたしの海道  
話ま分がた題。おがま卓  
しつの尽けで本役十した。新  
てて人きど、毎人御二た。担  
い、生て、回は免月。の聞当



今月の奥尻のお宝

うにまる完成記念の枡 平成元年

新茶之記録(編集後記)

「朝の食卓」終了です